

県有地（潮芦屋）の土地利用に関するサウンディング型市場調査の結果概要

- 1 実施日 令和5年10月10日（火）～10月20日（金）
- 2 参加企業数 11社（デベロッパー、設計会社、サービス業など）
- 3 主な意見

○対象用地における事業の可能性
<ul style="list-style-type: none">・潮芦屋の核となるマリーナの継承が求められる・潮芦屋の周辺施設と調和する街並みの形成が重要である・現在、まちにある施設（スポーツクラブ、コンビニ、足湯など）はバランス良く配置され利便性が高い・多くの方々を祝福してきた建物を生かすことが望ましい
○想定される土地利用方法
<ul style="list-style-type: none">・既存の利用方法（マリーナ、コンビニ、スポーツクラブ）に加え、以下の利活用が想定される。・飲食店舗（レストラン、カフェ等）・商業店舗（家電量販店、インテリアショップ、アパレルショップ等）・フォトスタジオ・宿泊施設・専門学校
○潮芦屋プランに寄与する交流、にぎわい創出への工夫
<ul style="list-style-type: none">・まちの魅力やブランド力が向上する特色ある空間づくり・芦屋らしい緑豊かな空間の形成と保全・日常生活に必要な施設が身近に配置され、暮らしやすいまちづくり
○土地利用に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none">・各用地への進入路が限定される・車利用者が多いため、駐車場の確保が重要・にぎわい施設に多く見られる道路渋滞による近隣住民への影響
○景観への配慮
<ul style="list-style-type: none">・マリーナ棧橋や周辺施設（クラブハウス、スポーツクラブ、結婚式場）などが街に馴染んでおり、良好な街並みが形成されている。・特に結婚式場は潮芦屋のシンボリックな建物であり優れた景観を作り上げているので、今後も残すべきである。